様式３(2019.05改)

作成日　令和元年９月２１日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000440
事業所名	愛の家グループホーム豊橋牛川薬師町

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	防災訓練は早朝7時からで参加が難しいため、自治会長から「こういう経路で～」と、後に説明を受けています。また地域の祭りでは「爆竹の音でびっくりさせてしまうかも…」と予め組長が挨拶をくださったりと、温かな地域に常日頃から支えられています。また買い物、ドライブ、外気浴、散歩、外食と、外出支援も盛んな事業所とあって、喫茶店をはじめ地域資源を十分ケアに生かすことが叶っています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	メンバーが揃って闊達で、豊富な意見交換に満ちる運営推進会議を隔月開催しています。また家族参加を増やすことを目指して開催曜日等に工夫を加えた結果、毎回1、2名が出席くださるようになり、前進しています。また地形的に土砂災害は想定されるため、マニュアル整備とともに、地域の事業所との連携も視野にいれ、運営推進会議においても大いに助言を期待しているところです。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	新城市、豊川市、田原市、蒲郡市、豊橋市などを統合し、三河広域連合との名称を以て保険者となり、直接担当者と顔をあわせることはほとんどありませんが、グループホーム連絡協議会には万障繰り合わせて出席しています。地域包括支援センター職員は運営推進会議を通じて地域情報を豊富に届けてくださり、事業所も実情を随時伝えています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	毎月の請求書に1ヶ月の様子を同封しており、面会が「毎日」という家族もいます。家族が来所すると、本人の過去の暮らしぶりを聞ける機会とばかりに職員が家族の下に集まってしまう日もあり、また管理者も受診介助（専門医、緊急対応）の折に家族と密に話すことに努めていて、家族との情報共有に意欲的な姿が在ります。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	―	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○